

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
- ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

商品名 コーヒーメーカー		★お買い上げ日： 年 月 日	
型番	COK-WC750A-K	品番	08-3275
保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)			
お客様	フリガナ ★お名前	様	
	★ご住所 〒	—	
	電話	()	
修理メモ			
販売店	★住所 店名 電話		
	®		

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006	048-992-2735
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

ELECTRIC INC.
OHM

サイフォン式

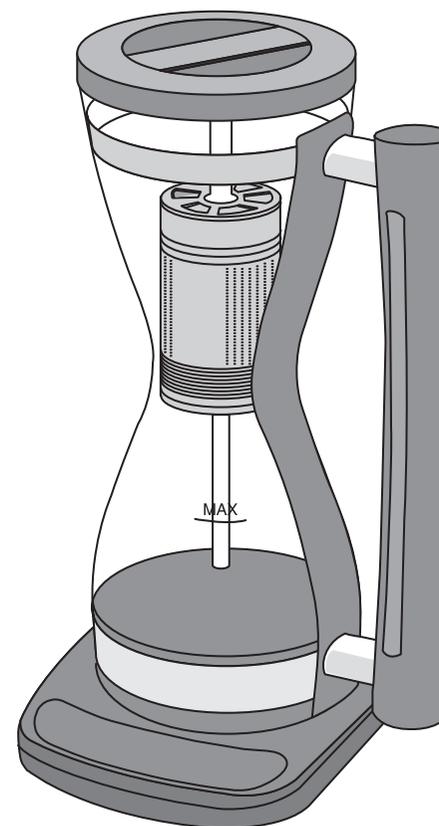
コーヒーメーカー

保証書付取扱説明書

型番：**COK-WC750A-K** 品番：**08-3275**

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前には必ずこの取扱説明書を最後までお読みになり、正しくお使いください。

この説明書は、ご使用になるお客様が大切に保管してください。



必ずお読みください

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
記載事項をお守りいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してください。

●表示について:表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。(下記は図記号の一部です)

	禁止	この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。
	指示	この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告		
 必ず守る	電源プラグは根元まで確実に差し込む。 湿気などで絶縁不良となり、火災や感電のおそれがあります。	 電源プラグを抜く
	電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。 湿気などで絶縁不良となり、火災や感電のおそれがあります。	 ぬれ手禁止
 電源プラグを抜く	発熱、発煙、異臭、異音、異物混入など異常があった場合はコンセントから電源プラグを抜く。 火災や感電のおそれがあります。使用を中止して販売店または弊社お客様相談室までご相談ください。	 分解禁止
	使用しないときはコンセントから電源プラグを抜く。 思わぬ事故や、けがの原因となることがあります。	 禁止
	電源プラグを抜くときはコードを持たずに必ず電源プラグを持つ。 感電やショートによる発火の原因となることがあります。	
	お手入れのときは必ず電源を切り電源プラグを抜いてから行う。 けがや感電のおそれがあります。	
	電源プラグはぬれた手で抜き差ししない。 感電事故の原因となることがあります。	
	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しない。 発火や感電、けがをするおそれがあります。電源コードが損傷した場合は、そのまま使用せずに販売店または弊社お客様相談室までご相談ください。	
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。 感電やショートによる発火の原因となることがあります。	
	加熱プレートを水につけたり、水にぬらしたりしない。 ショートしたり、感電するおそれがあります。	

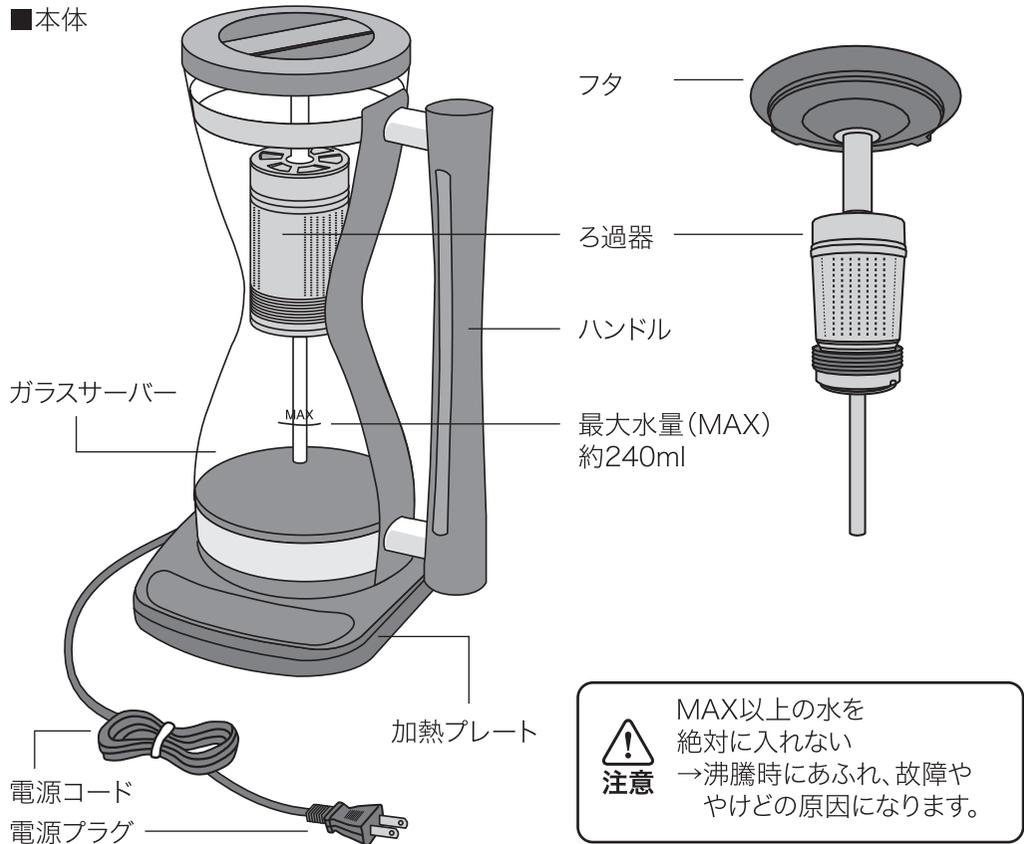
 必ず守る	電源は、交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う。 交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と併用したり、延長コードを使用すると発熱による火災の原因になります。	 禁止	直火(ガス台など)や電磁調理器(IHクッキングヒーター)、電気ヒーターの上にのせない。 火災、誤作動、故障の原因になります。
	電源コードに重い物を載せたり、無理に折り曲げたり、束ねたり、引っ張ったりしない。 火災や感電のおそれがあります。		お子さまだけでのご使用や、お子さまの手の届く場所で使用しない。 けがややけど、感電のおそれがあります。
	本体を傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しない。 湯が流れ出て、やけどのおそれがあります。		壁や家具などの近くでは使用しない。 蒸気や熱で壁や家具を傷めたり、変色、変形などの原因となることがあります。
	満水表示「MAX」以上の水を入れない。 やけど、感電、けがをするおそれがあります。		使用中や使用後しばらくは高温部に触れない。 やけどの原因になります。

 注意			
 必ず守る	水平の安定した場所に設置する。 本体が倒れ、やけど、けがのおそれがあります。	 禁止	使用中は、移動させない。 湯が流れ出たり、蒸気でやけどをするおそれがあります。
	電源コンセントの近く(コンセントの抜き差ししやすい場所)に設置する。 火災や感電、故障のおそれがあります。		本製品を落としたり、強い衝撃や振動を与えない。 火災や故障のおそれがあります。
	使用中は本製品から離れない。 発火や故障のおそれがあります。		火気の近くや油のかかる場所で使用しない。 火災や感電のおそれがあります。
	お手入れは冷めてから行う。 感電ややけどのおそれがあります。		他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない。 蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。
 禁止	ガラス容器を乗せたまま加熱プレートを動かさない。 ガラス容器が落下して破損し、けがをするおそれがあります。		フタを開けた状態では、使用しない。 湯が本体から飛び出し、やけどやけがのおそれがあります。
	加熱プレートを他の機器に転用しない。 発火、故障の原因になります。		家庭用なので業務用として使わない。

- ガラスサーバーに水以外のものを入れないでください。
- 続けてコーヒーを作る場合は電源スイッチを「切」にして、各部が冷えたことを確認してから(目安10分以上)、ご使用ください。
- 空だきはしないでください。
- ガラスサーバーが熱いうちに水の中に入れて、水をかけたり、ぬれた場所に置かないでください。

各部の名称

■本体



注意

MAX以上の水を絶対に入れない
→沸騰時にあふれ、故障ややけどの原因になります。

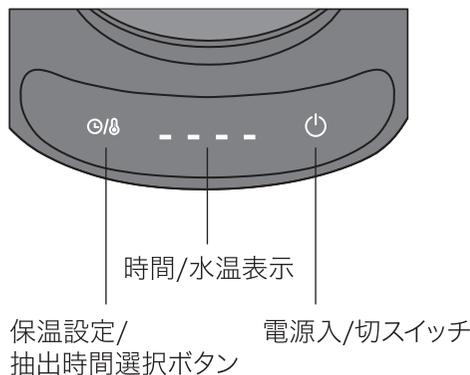
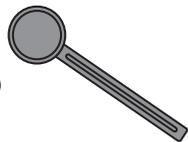


注意

電源コードを束ねたまま使用しない
→故障の原因になります。

■計量スプーン

(すり切り1杯/約7g)



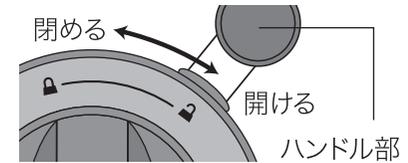
使用方法

はじめてご使用になる前に、ガラスサーバー、フタ、ろ過器、計量スプーンを柔らかいスポンジに台所用中性洗剤をつけてぬるま湯で洗い、水で十分にすすいでください。水だけで1~2回試運転する。
※加熱プレートは丸洗いできません。お手入れのしかたを参照ください。

1. ガラスサーバーからフタを外し、ろ過器にコーヒー粉を入れる

フタを開ける

●フタを反時計回りに回して、フタのロック解除(🔒)マークをハンドル部の中心と合わせフタを引き抜きます。

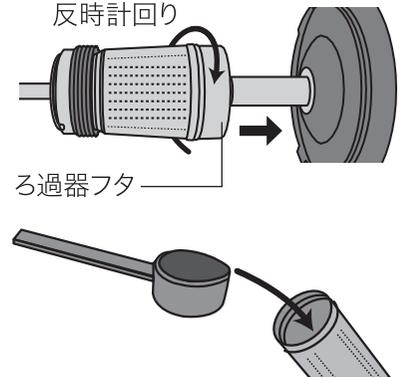


ろ過器を開ける

●ろ過器フタを反時計回りに回して開けます。

ろ過器にコーヒー粉を入れる

●計量スプーンすり切り1杯:約7g
●コーヒー粉は最大使用水量(約240ml)に対し、計量スプーンすり切り2杯(約14g)が目安です。ろ過器いっぱいコーヒー粉を入れてしまうと、中でコーヒー粉が攪拌(かくはん)されず、十分にコーヒーが抽出されません。
※あくまでも目安です。コーヒーの種類や挽き方、お好みにより加減してください。



ろ過器を閉める

●ろ過器フタを時計回りに回して閉めます。



注意

ろ過器フタはろ過器にしっかりと取り付けてください。
取り付けがゆるいとコーヒー粉が流出する原因となります。

コーヒーをおいしく淹れるポイント

●コーヒー豆やコーヒー粉は低温保存で

コーヒー豆やコーヒー粉は、高温多湿に弱く、香りが飛びやすいので、密閉できる容器に入れ、冷蔵庫など低温の場所で保存しましょう。

●抽出したコーヒーの保温は15分以内程度に

保温は15分以内が適当です。それ以上保温すると風味が損なわれる可能性があります。出来上がったコーヒーは、できるだけ早めに飲みきりましょう。

ガラスサーバーに水を入れる

●最大水量(MAX)約240ml



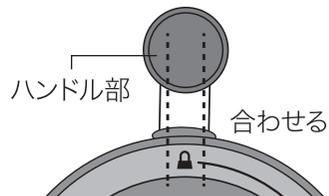
注意

●MAX以上の水を絶対に入れない
沸騰時にあふれ、故障ややけどの原因になります。

使用方法 (続き)

フタを閉める

- フタのロック解除(🔓)マークとハンドル部の中心が合うようにろ過器をガラスサーバーに差し込み、フタを時計回りに回し、フタのロック(🔒)マークをハンドル部の中心に合わせてフタを閉めます。



2. ガラスサーバーを加熱プレートにセットする



注意

- 加熱プレートを濡らさない
加熱プレートを水などで濡らすと、感電やショート、故障の原因になります。

3. 抽出する

- 保温設定/抽出時間選択ボタン

・保温設定(30分)

→通電状態で押すことで任意に保温状態にできます。
保温を取り消す際は、電源入/切ボタンを押します。

・抽出時間選択 「1:00」「2:00」「3:00」

→通電後、電源入/切ボタンを押してから、ボタンを押して設定



- ①電源プラグをコンセントに差し込みます。デジタル表示がされ、通電します。



- ②電源入/切ボタンを押して電源を入れます。
保温設定/抽出時間選択ボタンを押し、「1:00」「2:00」「3:00」からお好みの抽出時間を選びます。
抽出時間を長くすると、味が濃くなります。
点滅後数秒で確定され、水の沸騰が始まります。
(現在の水温が表示されます)



- ③水が沸騰するとお湯が上に上がり、音が鳴って抽出を開始します。(抽出時間がカウントダウンされます)
※お湯が若干下に残りますが、故障ではありません。

- ④抽出完了後は音が鳴り、自動で30分間保温されます。
30分後に音が鳴り、自動で電源が切れ、通電状態になります。



注意

- 使用中は加熱プレートからガラスサーバーを外さない
→抽出や保温中にガラスサーバーを加熱プレートから取り外すと安全装置が働いて音が鳴り、電源が切れます。

使用方法 (続き)

4. 電源ボタンを押して電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く



必ず守る

- 連続して抽出するときは、ガラスサーバー・加熱プレートが冷めたこと(約10分)を確認してから行ってください。
→温度が高い状態では保護機能が働き、抽出ができません。冷ましてから抽出してください。

5. ガラスサーバーを加熱プレートから外す



注意

- フタを開けるときは、フタのつまみとガラスサーバーの取っ手以外には手を触れないでください。
- フタを開けると、高温の蒸気が出たり、フタについた熱いしずくが落ちる場合があります。
- ガラスサーバーの取っ手をしっかりと持ち、ゆっくり開けてください。
※フタについた水分が落ちて問題のない場所で行ってください。
抽出直後、保温直後はろ過器が熱くなっています。やけどに気をつけて取り出してください。

6. ろ過器を取り出してコーヒーをカップに注ぐ

- アイスコーヒーを作るとき

グラスの約8分目まで氷を入れてからコーヒーを注ぎ、かき混ぜて冷やします。

- 熱めのコーヒーをお好みのかたは

あらかじめ熱湯などで温めておいたカップに注ぎます。

※本製品は紅茶でのご使用もできます。

ミネラルウォーター使用時のお願い

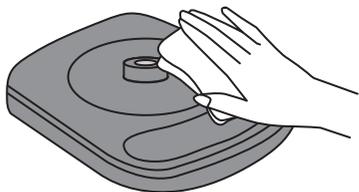
- 硬度200mg/L以上のものは使用しないでください。製品内部の水管に湯アカ(ミネラル分)が付着して、抽出時間が長くなったり、最後までドリップできなくなる場合があります。
- できるだけ硬度120mg/L以下のものを使用してください。
- 使用中に抽出時間が長く感じられたら、クエン酸洗浄を行ってください。(P8参照)

お手入れのしかた

安全のため、電源プラグを抜き本体・周辺が冷めてから行ってください。

各部のお手入れの際、金属製・ナイロン製のたわしや、みがき粉、ベンジン、シンナー、漂白剤などを使用しないでください。

加熱プレートのお手入れ



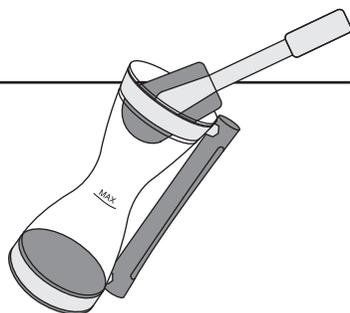
- ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんなどを固く絞り汚れを拭き取ります。
- その後、水分を完全に拭き取ります。



- 加熱プレートを水に浸けることは絶対におやめください。故障の原因になります。

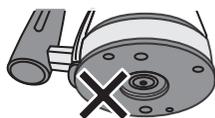
ガラスサーバーのお手入れ

- 台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯で、内側はやわらかい柄つきスポンジを使用して外側はやわらかいスポンジで洗ってください。
- その後、乾いた布で拭き取り、乾燥させてください。



注意

- 外側底面部は濡らさないようにご注意ください。
- ガラスサーバーは熱いうちに、水をかけたり、濡れた場所に置いたりしないでください。(割れるおそれがあります)
- やわらかいスポンジでも研磨剤がついているものは使用しないで下さい。ガラスに傷がつき、破損する原因となります。



フタ・ろ過器のお手入れ

- ガラスサーバーから外して、台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジで洗ってください。
- その後、乾いた布で拭き取り、乾燥させてください。



注意

- ろ過器にコーヒーかすが残っていると、酸化して次に使うときに、コーヒーの風味を損ねたり、目詰まりによりコーヒーの抽出ができにくい原因になります。すみずみまで丁寧に洗ってください。

電源コード・電源プラグのお手入れ

- 乾いた柔らかい布などで拭き取ります。

収納する

- 直射日光をさけ、湿気が少ない場所に保管してください。
※本体をお手入れしてからポリ袋などに入れ、お買い上げ時の箱に収納します。

お湯の出具合が悪くなったとき(クエン酸洗浄)

繰り返しの使用により、水の中に含まれるミネラル分が付着し、お湯の出が悪くなる場合があります。お湯の出が悪いと感じたら以下の方法でクエン酸(市販の食用の物)洗浄をおこなってください。

- ①別容器に水240ml(ガラスサーバーのMAX水量)を入れ、クエン酸約10gを入れてよくかき混ぜてください
- ②①で作ったクエン酸水をガラスサーバーに入れ、フタ・ろ過器をセットしたら加熱プレートにのせてください。電源を入れて空抽出(コーヒー粉は入れない)してください。
- ③作動により、クエン酸水がガラスサーバーの下方に戻ったら、電源を切り、クエン酸水を捨ててください。
- ④10分程して本体が冷めたら、ガラスサーバーのMAX目盛りまで水を入れ、フタ・ろ過器をセットして加熱プレートにのせ電源を入れて空抽出をしてください。クエン酸のにおいが取れるまで2回以上繰り返してください。

故障かなと思ったら

症 状	原 因	対 策
抽出されない。	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていない。	◎電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●電源が切れている。	◎電源スイッチを「入」にしてください。
	●ガラスサーバーに水が入っていない。	◎ガラスサーバーに水を入れてください。
コーヒーがあふれる。	●フタがきちんと閉まっていない。	◎フタをきちんと閉めてください。
	●ガラスサーバーが正しくセットされていない。	◎ガラスサーバーを正しくセットしてください。
	●ろ過器からコーヒーがあふれる。	◎コーヒー粉の量を正しく入れてください。
	●ガラスサーバーに水を入れすぎている。	◎ガラスサーバーに入れる水の量を目盛りに合わせてください。
動作中にガラスサーバーのお湯が上部に上がっていない場合。	●パッキンが汚れている、異物が付着している。	◎きれいにお手入れしてください。
	●パッキンがずれている。	◎ろ過器のパッキン取り付け溝の真ん中辺りにくるように取り付けてください。
	●パッキンが切れている。	◎パッキンを交換してください。 (パッキンはお買い上げの販売店または弊社お客様相談室へご連絡ください)

上記の点検または処置をしても異常が直らなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターへご連絡ください。

仕様

商 品 名	コーヒーメーカー
定 格 電 圧	AC100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	750W
本 体 寸 法	(約)幅150×高さ260×奥行140mm
最 大 使 用 水 量	0.24L
質 量	約760g
コ ー ド 長	約0.7m

※製品改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。
※型番、品番は器具本体に貼ってあるラベルをご参照ください。